

開発建設部

Point

那覇空港自動車道豊見城東道路が平成20年3月22日に全線暫定供用します。

いよいよ供用

那覇空港自動車道 豊見城東道路（豊見城・名嘉地IC～豊見城IC）

豊見城道路の概要

事業目的
沖縄自動車道、南風原道路とつながり、本島北部、中南部及び那覇空港間の定期制や高速性を確保します。
都市部の交通混雑緩和を図ります。

整備の概要
平成15年4月に南風原南IC～豊見城IC間(2.7km)を先行して開通しました。
今回、県道68号までアクセスさせた後引き続き平成22年末には、国道331号（小禄バイパス）に直接アクセスできるように整備いたします。

★那覇空港から最寄のI.Cまでの所要時間が約15分短縮されます。

整備前
25分

15分減

整備後
10分

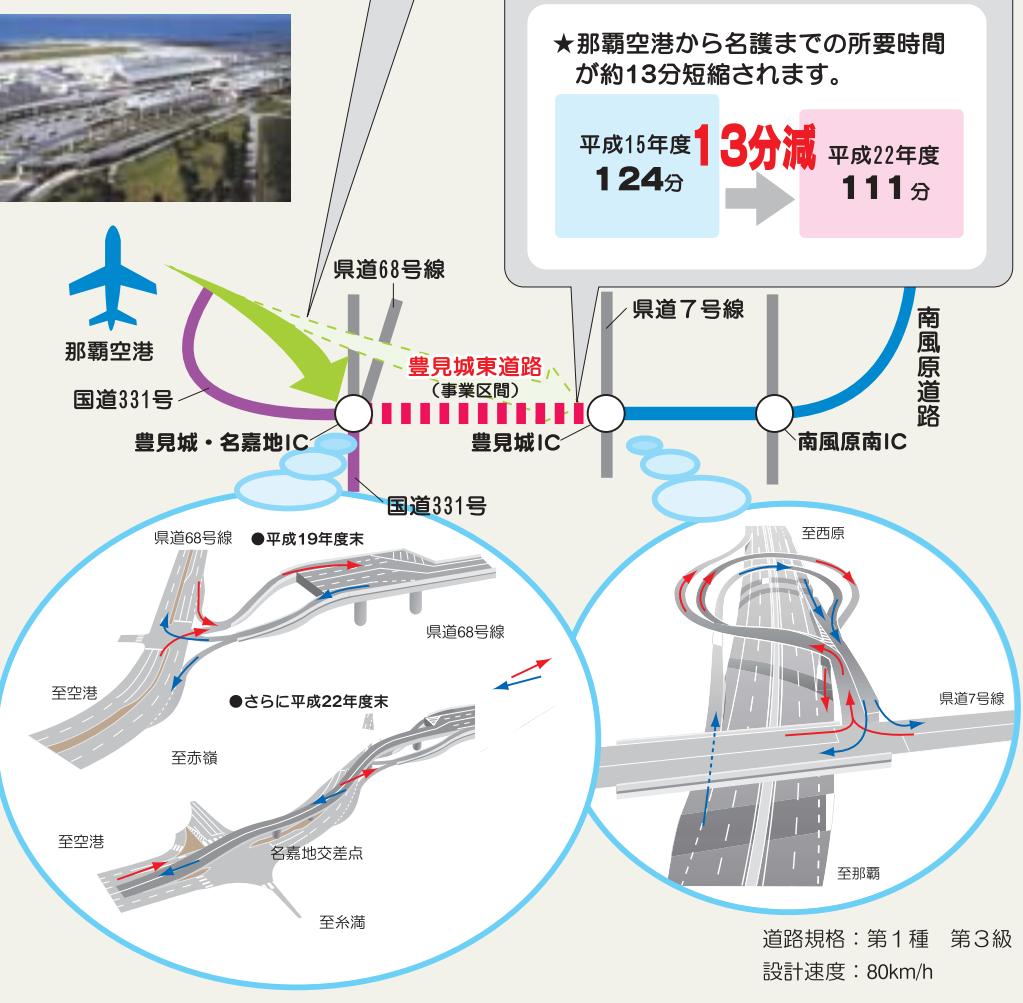
那覇空港～豊見城IC

★渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減されます。

平成15年度 250.8 万人時間/年	17%減	平成22年度 207.3 万人時間/年
----------------------------------	-------------	----------------------------------

★那覇空港から名護までの所要時間が約13分短縮されます。

平成15年度 124分	13分減	平成22年度 111分
-----------------------	-------------	-----------------------





開通後の効果!

豊見城東道路は、那覇空港自ら那覇空港までを結ぶ、延長約20kmの高規格幹線道路です。沖縄県最大の広域交通拠点である那覇空港と沖縄自動車道を結び、沖縄県の経済活性化、観光の振興、高速定期性の確保に大きく寄与します。

豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一部として、那覇空港から名護方面へのアクセス時間の短縮化による地域産業、観光および地域振興への寄与はもとより、周辺地域の混雑緩和も支援する道路であり、観光支援、物流効率化、渋滞の解消や交通事故抑制等への効果が期待されます。